

## 国立大学リハビリテーション 投稿規程

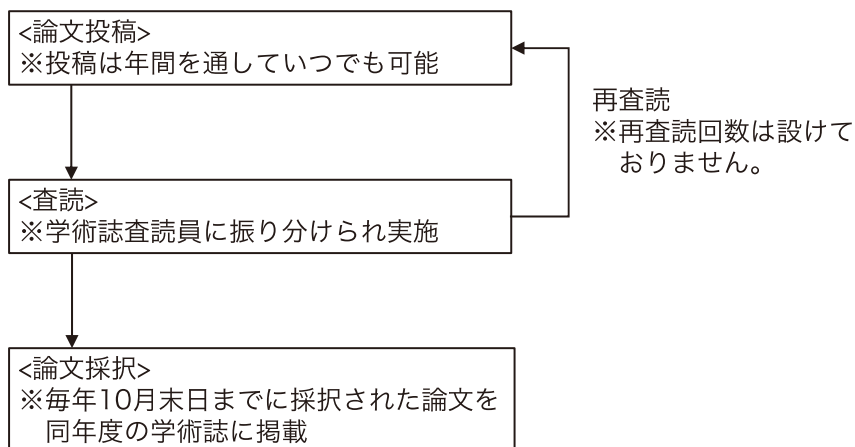
- 「国立大学リハビリテーション (Journal Of National University Rehabilitation)」(以下、本誌)は、国立大学リハビリテーション療法士協議会の機関誌・学術誌であり、リハビリテーション分野の研究、症例報告等を公表し国民保健の発展に寄与することを目的とする。リハビリテーションの発展に関する記録や資料を掲載する。
  - 本誌への投稿は本会の会員に限る。筆頭著者は本会員に限る。
  - 論文の採否については査読を行い査読者、学術部等の意見において決定する。査読の結果、修正を求められた場合は修正再提出すること。
  - 記事の種類は以下の3種類から選択してください。
    - ① 原著：新規性および独創性があり明確な結論を示した論文。原稿字数：8,000字以内。  
(「はじめに」、「対象」、「方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「参考文献」)
    - ② 症例報告：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究および考察を行った論文。原稿字数：5,000字以内。  
(「はじめに」、「症例」、「考察」、「結語」、「参考文献」)
    - ③ 報告：原著ほどの独創性は求めないがリハビリテーションの発展に寄与する研究報告。原稿字数：5,000字以内。
- ※原稿字数とは、本文の文字数であり、タイトル、所属、著者、キーワードは含みません(例：本文とは、原著の場合、「はじめに」、「対象」、「方法」、「結果」、「考察」、「結語」、「参考文献」までを含む)。
- タイトルページ(論文種別、表題、著者、所属、著者、キーワード(3つ)、責任著書情報、原稿文字数)と原稿(本文、図表の説明文)の順に作成して下さい。フォントは下記を参照して下さい。図表は1枚を400字と数えます。機種依存文字、外字は使用しないで下さい。Word2007以降のバージョンで開くことが可能な状態で保存して下さい。
- | フォント        | 日本語    | 英数字     | ポイント |
|-------------|--------|---------|------|
| タイトル        | MSゴシック | Arial   | 16   |
| 所属、著者、キーワード | MSゴシック | Arial   | 12   |
| 本文          | MS明朝   | Century | 10   |
- 図表は文字原稿とは別とし、表はExcelで作成、写真はJPEG形式(350dpi以上を推奨)でお願いいたします。図表は掲載順に図表番号題名を記載したリストを作成して添付して下さい(テキストまたはExcel形式)。印刷は白黒になるため画像データはあらかじめコントラストのはっきりしたものをお願いします。
  - 原稿の提出はEメールによる添付でお願いいたします。
  - ヘルシンキ宣言に沿った研究であることをご確認下さい。特にプライバシーの侵害や人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記して下さい。また、レントゲン撮影や侵襲を伴う研究方法がなされた場合は、論文中にそれを施行した人の職種を明記して下さい。なお、執筆者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨を論文中に記載して下さい。
  - 投稿に際しては、利益相反に関する情報開示が必要です。本文の最後(引用文献の前)に「利益相反」と見出しを付けて記載して下さい。著者全員に利益相反が無い場合は、「開示すべき利益相反はない」と記載し、利益相反のある著者がいる場合は、その氏名とその利益相反について全て挙げて下さい。
  - 論文の著作権(著作権法27条 翻訳権、翻案権等28条 二次的著作物の利用に関する原著者の権利)は、当協議会に帰属させていただきます。当協議会は、当該論文等の全部または一部を、当会ホームページ、当会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとします。
  - 投稿原稿は他紙に発表、または投稿中の原稿でないこと、また、本誌規程に従って作成することとします。
  - 引用文献は本文の引用順に並べ、雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁(最初-最終)の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁を記載して下さい。文献の省略は公の省略法(Index Medicusなど)に従って下さい。引用文献の著者氏名が3名以上の場合は最初の2名を記載して下さい。
    - 1) 宮本謙三, 竹林秀晃, 他: 加齢による敏捷性機能の変化過程—Ten Step Testを用いて—. 理学療法学. 2008; 35: 35-41.
    - 2) Tompkins J, Bosch PR, et al.: Changes in Functional Walking Distance and Health-Related Quality of Life After Gastric Bypass Surgery. Phys Ther. 2008; 88: 928-935.
    - 3) 信原克哉: 肩—その機能と臨床—(第3版). 医学書院, 東京, 2001, pp156-168.
    - 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): Lovelland Winters Pediatric Orthopaedics. 6th ed,

Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, pp97-112.

- 5) 名郷直樹：EBMの現状と課題，エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際．内山靖（編），医歯薬出版，東京，2008，pp18-38.
- 6) <http://www.who.int/classifications/icf/site/icftemplate.cfm>（参照2007-05-19）
13. 数量の単位は，国際単位系（SI単位）を用いて下さい．
14. 略語は初出時にフルスベルあるいは和訳も記載して下さい．
15. 機器名は，「一般名（会社名，製品名）」で表記し，統計ソフトは「製品名，バージョン番号」として下さい．

## 投稿手順等

### 1. 論文査読制度



### 2. 投稿手順

年間を通じていつでも投稿が可能です。論文投稿をご希望する方は、下記メールアドレスに投稿執筆規程に沿った原稿等と共著者同意書を添付し、かつ以下の内容を記載し転送願います。メールの件名には「国立大学リハビリテーション投稿」と記載ください。投稿執筆規程に沿っていない場合は返却する場合がございます。後日、投稿受付完了メールを返信致します。

- ・氏名
- ・所属
- ・連絡先メールアドレス
- ・職種 (PT・OT・ST)
- ・その他 (特記事項などあればご記入ください)

### 3. 投稿先

国立大学リハビリテーション協議会 事務局学術部  
 「国立大学リハビリテーション」学術誌編集委員会  
 E-mail: kokudaireha-kyogikai@umin.ac.jp

投稿後、国立大学リハビリテーション療法士協議会学術誌査読員に振り分けられ、査読が開始されます。毎年10月末日までに採択された論文が、その年度に発刊される『国立大学リハビリテーション』に掲載され、それ以降に採択された場合は次年度に持ち越されます。『国立大学リハビリテーション』の発刊は毎年4月を予定しております。

## 投稿原稿書式

### 1. 投稿するデータ（ファイル名も下記の通り統一してください）

#### ① タイトルページ（Word）

- 5           ・論文種別：            研究論文       ・    症例報告       ・    報告（どれかを選択）
- ・表題
- ・著者氏名と所属：共同筆者も記載
- ・キーワード
- ・責任著者情報： 氏名, 連絡先住所, メールアドレス
- 10           ・原稿文字数：        〇〇字(図表△△字相当含む),

#### ② 原稿（Word）→著者名, 所属は記載しない.

→記載する内容

- ・本文(利益相反, 謝辞, 文献含む)
- 15           ・図表の説明文

#### ③ 図表（図：JPEG, 表：EXCEL）

              ・ファイル名は「図1」, 「図2」, 「表1」と一つずつ明記し転送してください.

#### ④ 共著者同意書（PDF）

→全著者が自筆署名したものをスキャン等でデータ化して下さい.

### 2. 原稿書式

※この投稿原稿書式のファイルは下記の書式で作成してありますので, 書式としてご使用いただけます.

- 25           ①用紙：A4
- ②マージン(余白)：上下左右とも 25 mm
- ③文字数(一行あたり)：40 文字
- ④行数：30 行
- ⑤本文の最下部中央にページ数を入れること
- 30           ⑥本文の左に5行ごとに行番号を振ること(ページごと振りなおし)

## 共著者の同意書

論文カテゴリー：原著・症例報告・報告

タイトル：

筆頭著者氏名：

上記論文の国立大学リハビリテーションへの投稿にあたり、論文の投稿・内容について、共著者全員の同意が得られていることを証明するため、共著者全員の自筆署名をここに提出いたします。

共 著 者 名	1.	2.
	3.	4.
	5.	6.
	7.	8.
	9.	10.

(共著者が10名を超える場合には余白に記載してください。)

年 月 日

※論文採択後、この同意書は責任をもって破棄させていただきますのでご了承ください